

「高校生よのなか教室」

《期日》 平成28年2月4日（木） 3校時 10:30～11:20

《講師》 日向高校・日向工業高校・富島高校・門川高校の生徒 計8名

《対象》 8年生

《目的》○ 本校を卒業した高校生から、なぜその高校を選んだのか、高校に入って学んだ点、今から意識して頑張った方が良い点等を話してもらい、生徒たちに今は未来と繋がっていること、未来を考えることの基本は今の生き方を見つめ、改善していくことだと学ばせ、3月に行われる立志式の動機付けとする。

《事前の活動》○ 高校を調べ、希望高校について考える。

○ 高校生への質問事項をまとめる。

《当日の活動》① 全体活動：今の高校を選んだ理由を聞く。

② グループ活動：グループに分かれて、高校生に質問をしたり、意見交換をしたりする。

③ 全体活動：高校生から後輩に向けてのメッセージを聞く。

《事後の活動》○ 講話からの学びを「学習の記録」にまとめ、今後の生活に活かす。



☆「高校生よのなか教室」感想 ☆

1 活動を通しての学び

- わたしは門川高校の先輩に、高校に入るまでにしておいた方がいいことは何かをうかがいました。すると即答で「勉強と生活態度を良くすること」と言われました。高校生活では、中学時代と全く異なるものも多いので、できるだけ早くなじめるように、これから準備していきたいです。
- 富島高校では、専門的な勉強をすること、たくさんの資格がとれることを知りました。資格は、将来のためにとっても重要なものだと先輩がおっしゃっていたので、わたしも、高校からではなく、今のうちから漢字検定などに挑戦していきたいです。また、先輩から、なまけずに勉強することは大切という助言をいただいたので、実践していこうと思いました。
- 日向工業高校の先輩から話を聞いて、高校は義務教育ではないから、勉強面も厳しく、高校を卒業するには勉強をしっかりしないといけないことが分かりました。また、専門学科に関係のある検定を受けられることも知りました。ぼくは検定を受けるためにも、勉強を頑張りたいと思いました。
- 今回の活動は、資料などで調べるよりも、実際に話を聞くことができるととても良い機会になりました。わたしが一番心配していたのは、部活動のことです。上下関係があったり、毎日きつい練習だったりしたら、ついていけなくてやめてしまうかもしれないからです。でも、日向高校の先輩に質問をして、そんな心配は無いことが分かりました。勉強のことも、宿題が多くないか不安でした。でも、2、3時間あれば終わると聞いて、それなら部活との両立もできそうだなと思いました。

2 出会った先輩方からの学び

- 質問されたことに対して具体的に答えていたので、見習いたいと思いました。
- 質問に答える時、相手の目をしっかり見て答えていたので、見習いたいと思いました。また、態度も堂々としていて、とてもかっこいいと思いました。
- 高校生は勉強の量も増えて、部活も大変なのに、その両方をどちらもしっかりとやっているという姿を見て、すごいと思いました。
- 先輩は、ぼくたちからの質問に答えてくださるだけでなく、他に質問は無いかなどと聞いてくださったので、とても話がしやすかったです。さすが高校生だなと思いました。
- わたしは、先輩の、どんなこともあきらめずに挑戦する姿勢を見習いたいと思いました。中学生のうちからこの力をつけるために、視野を広げて、何にでも挑戦したいです。
- 先輩方は、部活も勉強も両立できていてすごいなと思います。今の自分は、少しできていないので、これから気持ちを入れ換え、高校で役に立つようにしていきたいです。
- 先輩は、どんな質問をしても分かりやすく答えてくださったので、すごいなと思いました。
- しっかりと、丁寧に、分かりやすく教えてくださったので、さすがだなと思いました。そして、自分の意見をもっていたので、ぼくもああいう先輩になりたいと思いました。
- 自分の経験や考えていることをしっかりと話していらしかったので、ぼくも今回来てくださった先輩方を見習って、成長していきたいと思いました。
- 先輩方は、本当に高校生活を楽しんでいるようだったので、素敵だし、自分もそういう高校生になりたいと思いました。この東郷学園出身の先輩として尊敬します。